

この本の効果的な使い方

この『予習シリーズ 漢字とことば』は、『予習シリーズ・国語』を学習する生徒を対象とした、『漢字の学習』と『言語要素の学習』のための副教材です。

各回一週間単位の学習を基本とする『予習シリーズ・国語』に合わせ、『漢字とことば』も各回一週間で中学入試頻出漢字四十題と〈ことばの知識〉一単元を学習するように作られています。そして、五回(四回)に一回の「総合」の回では、それまでの四回分(三回分)を復習するようになっていきます。なお、『漢字とことば 五年下』第14回で、小学四年生から小学六年生までの漢字の基本的な学習はひととおり終わりました。この『漢字とことば 六年上』では、中学入試で求められる漢字力の完成を目指し、総復習を進めてください。

効果的な学習方法についてのアドバイス

1 漢字の学習

第1回から第18回までの漢字は、『予習シリーズ 六年上』の各回に対応した学習教材です。中学入試での出題頻度データに基づいて作られていますので、受験生にとって基本中の基本であると言えます。くり返し練習をして、定着を図ってください。

2 ことばの知識

その回の学習内容についての解説と一覧表をまず通読して、練習問題に取り組みましょう。練習問題には過去に学習した内容の復習も含まれています。今、自分が持っている知識で答えられる問題と答えられない問題をはっきりさせ、答えられない問題については4年④〜5年⑤までの『漢字とことば』の解説・一覧表で確認することによって〈ことばの知識〉を補強しましょう。

3 小学漢字一〇二六題

〈小学漢字一〇二六題〉は、小学校で学習する漢字一〇二六字を総ざらいし、それらの漢字と、漢字を使った熟語の書き取りの力をチェックするために作られた自習用教材です。盲点になりがちな1〜3年生の学習漢字を含め、入試に頻出の熟語をセレクトしています。全52回、各回19〜20問の入試頻出熟語の書き取りを繰り返し練習し、入試に対応した書き取りの力を養います。

予習シリーズ 漢字とことば 6年上

この本の効果的な使い方
 3
 もくじ
 4

第1回 漢字 中学入試頻出漢字 6

ことば 和語① 8

第2回 漢字 中学入試頻出漢字 12

ことば 慣用句① 14

第3回 漢字 中学入試頻出漢字 18

ことば 三字の熟語① 20

第4回 漢字 中学入試頻出漢字 24

ことば 四字の熟語① 26

第5回 漢字 中学入試頻出漢字 30

ことば 総合 34

第6回 漢字 中学入試頻出漢字 36

ことば 和語② 38

第7回 漢字 中学入試頻出漢字 42

ことば 慣用句② 44

第8回 漢字 中学入試頻出漢字 48

ことば ことわざ 50

第9回 漢字 中学入試頻出漢字 54

ことば 総合 58

第10回 漢字 中学入試頻出漢字 60

ことば 外来語 62

第11回 漢字 中学入試頻出漢字 66

ことば 慣用句③ 68

第12回 漢字 中学入試頻出漢字 72

ことば 三字の熟語② 74

第13回 漢字 中学入試頻出漢字 78

ことば 四字の熟語② 80

第14回 漢字 中学入試頻出漢字 84

ことば 総合 88

第15回 漢字 中学入試頻出漢字 90

ことば 故事成語 92

第16回 漢字 中学入試頻出漢字 98

ことば 類義語 100

第17回 漢字 中学入試頻出漢字 104

ことば 対義語 106

第18回 漢字 中学入試頻出漢字 110

ことば 総合 114

小学漢字一〇二六題 118

中学入試頻出漢字

- 1 祖父が人生の教訓をたれる。
- 2 姉は美容センモン学校に通う。
- 3 試合はイガイな結果に終わった。
- 4 部屋のかたづけがすむ。
- 5 ひとけたの足し算はカンタンだ。
- 6 テストにそなえて勉強する。
- 7 友達から給食費をあずかる。
- 8 フシギな夢を見た。
- 9 今日は生ゴミをすてる日だ。
- 10 才能をハッキして入賞を果たす。

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

- 11 動物の生態にカンシンをもつ。
- 12 学校の帰り道でお金をひろう。
- 13 とてもショウチできない相談だ。
- 14 暖かな春の日光をあびる。
- 15 インショウと実物はちがう。
- 16 新しい学校になれる。
- 17 この機械はフクザツな構造だ。
- 18 コウフンしてよくねむれない。
- 19 ヨウイに解ける問題だ。
- 20 湖に紅葉した山がうつる。

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

中学入試頻出漢字

- 21 困っている友人に力をかす。
- 22 父あてに速達がとどく。
- 23 話の内容はソウゾウがつく。
- 24 祖母は田舎でくらししている。
- 25 新しい生命がタンジヨウする。
- 26 明暗がタイシヨウ的である。
- 27 紅花で布をそめる。
- 28 父の表情がけわしくなる。
- 29 試験の結果はケントウがつく。
- 30 静かなクチヨウで話す。

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

- 31 新しい土地をたがやす。
- 32 コシヨウした時計を修理に出す。
- 33 自慢気に胸をそらす。
- 34 絵をテンラン会に出品する。
- 35 ゼツタイに達成するとちかう。
- 36 テンケイ的な家庭を調査する。
- 37 一代で多くの財産をきざく。
- 38 小学生をタイシヨウとした番組。
- 39 学校の近くで本屋をいとなむ。
- 40 小言を言われて耳がいたい。

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

和語 1

* 覚えておきたい和語①

| 和語 | 意味「用例」 |
|--------|--|
| あきたらない | 十分に満ち足りない。満足しない。「あきたらない」とも 「父はフィギアを集めるだけではあきたらず、展示会まで開くようになった。」 |
| あわよくば | 運がよければ。よい機会が得られれば。うまくいけば。 「この作戦で敵に大打撃を与え、あわよくば降参させたいと考えている。」 |
| うづもれる | きつかけ。手がかり。 「話のいとぐち」「解決のいとぐちを掴む。」 1 覆われて外から見えなくなる。うずまっっている。うもれる。 「車が雪にうずもれる。」 2 物や人などで場所がいっぱいになる。 「倉庫が段ボールでうずもれる。」 3 世の中に知られないでいる。うもれる。 「彼は才能があるのにうずもれたままだ。」 |

| | |
|-------|--|
| おおかた | 1 物事や事柄の大体。大部分。あらかた。 「材料のおおかたを使ってしまった。」 2 普通の物事。世間一般。世間一般の人。 「争いは早期に終結するだろうというのが、おおかたの見方だ。」 3 だいたい。大部分。あらかた。 「部屋の掃除はおおかたおわった。」 4 恐らく。たぶん。 「おおかた来月まで完成しないだろう。」 |
| おちおち | (あとに打消しの語を伴って) 落ち着いて。安心して(〜ない)。 「工事の音がうるさくておちおち勉強もしてられない。」 |
| おぼしい | 思われる。推定される。ではないかと考えられる。 「おぼしき」とも言う。 「犯人とおぼしい人物を目撃する。」 |
| かこつける | 直接には関係しない他の事と無理に結びつけて、都合のよい口実にする。他の物事のせいにする。事(言)寄せる。 「部活動の忙しきにかこつけて勉強から目をそらす。」 |
| きりふだ | とっておきの最も強力な手段。他を圧倒し得る人やもの。 「かれの証言は最後のきりふだだ。」 |

| | |
|------|---|
| くちぞえ | 傍らから言葉を添えてとりなすこと。 「彼のくちぞえのおかげで契約が決まった。」 |
| こわばる | 柔らかいものが固くなる。不自然に突っ張る。こわこわする。 「彼女は緊張で顔がこわばっている。」 |
| しかと | 1 はっきりとしているさま。確実にまちがいのないさま。たしかに。 「彼の姿をこの目でしかと見た。」 2 かく、しっかりと。また、十分に。完全に。しっかりと。 「三十年ぶりに再会した親子は、しかと抱き合った。」 |
| せかせる | 催促して急がせる。せきたてる。「せかす」とも言う。 「危険なので運転手をせかせるような真似をしてないように。」 |
| ぞんざい | 1 いいかげんに物事をするさま。物事の取り扱いがていねいでないさま。投げやり。粗略。 「縫い目がぞんざいな洋服。」 2 言動が乱暴で礼を失しているさま。不作法。「ぞんざいな態度。」 |
| たそがれ | 1 夕方の薄暗い時。夕暮れ。 「たそがれどきの海岸を散歩するのが好きだ。」 |

| | |
|-------|---|
| なかんずく | その中でも。とりわけ。 「彼は様々な言語を話せるが、なかんずく英語は流暢だ。」 |
| つぐない | 罪や金銭の不足の埋め合わせをすること。また、そのための金銭や行為。 「罪のつぐないをする。」 |
| ぬきんでる | 1 ひときわ高く出る。 「他にぬきんでた高層マンション」 2 ひときわすぐれる。秀でる。 「彼女はぬきんでた才能の持ち主だ。」 |
| はすむかい | ななめ前。はすむこつ。 「はすむかいの家のリフォームが始まった。」 |
| ひとえに | 1 ただそのことだけをするさま。いちずに。ひたすら。 「ひとえに感謝申し上げます。」 2 原因・理由・条件などが、それに尽きるさま。もっぱら。 「この作品が完成したのは、ひとえに彼の努力の賜物です。」 |
| へたりこむ | 力が抜けてその場に座り込む。また、疲労で立てなくなる。 「疲れから思わずその場にへたりこんだ。」 |

| | |
|--------|--|
| ほほえましい | 好ましくて思わず微笑したくなるさま。ほほえましい。 |
| まどろむ | 「子どもたちの遊ぶ姿はほほえましい。」 少しの間うとうと眠る。仮眠する。 「睡眠不足のため何度かまどろんでしまった。」 |
| みすみす | 見ていながら、また事情がわかっているながら、それにふさわしい対応をしないさま。また、条件に恵まれながら、何もできずに終わってしまったさま。むざむざと。 「泥棒をみすみす逃してしまった。」 |
| やるせない | 思いを晴らすことがない。せつない。つらく悲しい。 「急な別れを迎え、やるせない気持ちになる。」 |

和語①

練習問題

- 問一 次の(1)～(5)の文の□にあてはまる言葉を後のア～オから選び、記号で答えなさい。
- (1) いつ会社に呼び出されるかわからず、□寝てもいられない。
- (2) せっかくの好機を□逃すような真似はしない。

- (3) 私が入試に合格できたのは、□先生のおかげです。
- (4) 夏休みの宿題は□終わった。
- (5) 息子の活躍を□見守る。
- ア ひとえに イ おちおち ウ みすみす
エ しかと オ おおかた

- 問二 次の(1)～(3)の文の□——線部の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。
- (1) 彼の才能は、長い間うずもれていた。
- (2) チーム内でもぬきんでた才能の持ち主。彼女は絵が上手だ。なかなしく風景画が得意だ。
- (3) ひどきわ優れる。
- ア その中でもとりわけ。
ウ 原因・理由・条件などがそれに尽きる。
エ 世の中に知れないでいる。
オ 他の物事のせいにする。

- 問三 次の(1)～(6)の文の□——線部の言葉の使い方が正しいければ○、誤っていれば×と答えなさい。
- (1) あわよくば失敗してしまうのではないかと心配する。楽しみにしていた旅行が妹の発熱で中止になり、やる

- (3) 大会で連続優勝したことにかこつけて、自分の実力に自信を持つ。
- (4) 合唱コンクールの当日、生徒たちは緊張から顔がこわばっている。
- (5) 会議中にまどろむようなことがあってはならない。
- (6) 一日の終わりに、その日の活動内容を上司にくちぞえする。

復習問題

問四 次の(1)～(5)の文の□にあてはまる言葉を後のア～オから選び、記号で答えなさい。

- (1) 嘘をついてしまい、□気持ちだ。
- (2) 機嫌を悪くした妹は、□返事をした。
- (3) うまく気持ちを伝えられなくて□。
- (4) □門構えの武家屋敷が残る町。
- (5) お祭り会場は□人出だった。
- ア そっけない イ いかめしい ウ もどかしい
エ うしろめたい オ おびただし

問五 次の(1)～(5)の文の□——線部の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。

- (1) 外国からの観光客を親切にもてなす。
- (2) お年寄りをいたわる気持ちを持つ。
- (3) 社長が忘年会で一年間の社員の労をねぎらう。
- (4) どんなにえらい相手にも媚びへつらうことはしない。
- (5) 幼い我が子をいつくしむ。
- ア 自分より下の立場の人の頑張りに対して、感謝の言葉などをかける。
イ 心をこめて客を接待する。
ウ 自分より上の者に気に入られるように振る舞う。
エ 弱い立場の人を思いやり、優しく大切に扱う。
オ かわいがって大切にする。

問六 次の(1)～(5)の文の□——線部の言葉の使い方が正しいければ○、誤っていれば×と答えなさい。

- (1) 息子はもう二十歳なので、一人暮らしをさせてもころもない。
- (2) 普段はどんな相手にもものおじしない彼が、今日の対戦相手を見ておじけづいている。
- (3) 彼女は目立ちたがり屋で、つましい性格だ。
- (4) 新しいゲームの購入を母にすげなく断られる。
- (5) 彼はいじらしい性格でみんなにうとまれている。